2021年11月11日

南三陸＝ハーグ SAEZ – オランダの作家が新作を制作中、12月に発表予定

「南三陸 = ハーグ SAEZ（アート・エクスペリメン特[トッ]区）」は、宮城県南三陸町とオランダのハーグという地球上で遠く離れた地域を出会わせ、文化、経済を相互に活性化するためのハイブリッドなアートの「特区」です。

「オンライン宿泊・バーチャル旅行 パッケージ」で、“キット購入→即旅行”という画期的な体験が可能となります。

舞台は、宮城県南三陸町と、オランダの事実上の首都ハーグを2つの大海と1つの大陸を大胆に跨いで両者を結びつけた、“南三陸＝ハーグ SAEZ（アート・エクスペリメン特[トッ]区）”。この特別地域で、オランダの芸大を卒業したばかりのアーティスト2人が、2021年夏〜秋にかけてレジデンスを決行。日本とオランダの間の未開領域をテーマにした、バーチャルリアリティ旅行パッケージが出来上がりました。パッケージには、それぞれのアーティスト手がけた2つのアプリが含まれています。

「Holiday glimplse（ちらみホリデー）」– Aydee Derix（アイデー・デリックス）

アイデー・デリックスは、アルバ（西インド諸島の南端部、南米ベネズエラの北西沖に浮かぶ島。 高度な自治が認められたオランダ王国の構成国）育ち、オランダ・アーネム在住のマルチメディアアーティスト。彼女は“観光”というものが持つ二面性に注目し、見慣れた風景やモノを異色の場所へと移植することで、”観光者”の実像を浮き彫りにする手法を得意としています。「観光には二重の効果があります。一方では、リラックスしたり、幸せな気分になったり、人生のさまざまな側面を見せてくれる経験や探検であり、他方では、行く先々を変えてしまう破壊的で疎外的な力です」とデリックスは語ります。アプリを開くと、トリップアドバイザーでオランダの観光スポット12位にランクインしている、風車などの昔ながらのランドスケープを残す「ザーンセ スカンス」に連れて行かれます。オランダには本来いないはずの、南三陸町の「ピアニシモな豚飼い」などの著書で知られる杉田徹さんの放牧豚が元気良く動き回っていますが、よく見ると、アプリ開始直後に撮影した自撮り画像が...

「Minaving （ミナビン [南三陸+スフェベニンゲン] ）」– Piet Verkleij（ピート・フェクライ）

ピート・フェクライは、オランダのティルブルグ育ち、ハーグに近い海岸町スフェベニンゲン在住の学際的アーティスト。海辺に住んでいることの地の利を活かし、海というものの様々な側面を垣間見せてくれる瞑想的なビデオコラージュ作品を卒業展で発表したピートは「私の作品は、現実とフィクションの境界線上を歩き、世界に対する視聴者の視点を問いかけます。想像力は、私が現実に対処するのに役立ちます。複雑な世界を、私が理解できるもの、そして私にとって個人的なものに変えてくれるのです」と自身の作風を表現しています。ピートのアプリは、南三陸とスフェベニンゲンの間の“ミーナビン（Minaving）”という仮想空間がもととなっており、体験者は2つの地点が交わった不思議な景色の中をさまようことができます。日本での第3次サウナブームに便乗し、仮想現実のサウナから物語は始まります。

南三陸＝ハーグ SAEZ（アート・エクスペリメン特[トッ]区）の「オンライン宿泊・バーチャル旅行パッケージ」は、2021年12月上旬に発売見込みです。パッケージを注文し、届いた組み立て式ヘッドセットのQRコードをスマホで読み取るだけで、特別地域の中にいざなってくれます。

12月5日に「お披露目イベント」 - 18時-20時（JST）

12月5日にZoom上で（YouTubeでライブ配信）逐次通訳の旅行パッケージとアプリの発表イベントを計画しています。

出演者：

アイデー・デリックス

ピート・フェクライ

錦良成（a.k.a いなり from TOFU／ロッテルダム）＊南三陸AIR、本プロジェクト担当者

四方幸子（キュレーター）＊南三陸AIRキュレーター

プレスリリースはこちらでもご覧いただけます

https://msr-haag.org/projects/

プロジェクトのメインURL

https://msr-haag.org/

連絡先

msr.haag@gmail.com